

南谷戸和楽路会の活動について

第9 班主任 大林義典

下倉田交番近くにある「大わらじ」の保存・製作を行っている「南谷戸和楽路会」がある。和楽路会の一大イベントといえ、3年に1度催される大わらじの製作・架け替え・奉納であるが、それ以外にも、現会長を筆頭とし会員親睦ならびに地域文化に寄与するため、年間を通して様々なイベントを開催しており、今回はその一部を紹介する。

昨年10月、復刻イベントとして、萬松寺の秋田龍門和尚の指導のもと、座禅会が開催された。みなさんは、座禅と聞くとどんなイメージをもたれているだろうか？

座禅会に参加して、まず感じたことは、お堂のなかの静けさである。秋晴れの中間催された

こともあり、お堂の中を吹き抜ける風が心地よく、風や鳥のさえずりのみがか聞こえる、何とも癒される空間であった。

次に、15分×2回という短めの時間ではあるが、目を閉じながら静けさを感じているうちに、時間が過ぎており、ひと時ではあるが時間を忘れることができ



最後に警策(木の棒)で励ましをいただくのも、今回は自己申告であり、痛みを覚悟して申告したのだが、和尚様の優しさからか、音はするものの、痛みを感じることはなかった。参加者からは、次回開催される際には、もう少しキツめでのお願いが出ていた。

座禅会に参加することで、少しの時間ではあるが、都会の喧噪と時間を忘れ、心を落ち着かせることができるとは、いい気分転換となった。

その他にも、七夕飾りや流し素麺大会では、4m以上の竹を竹林から切り出すところから準備



備を行うものや、しめ飾りの製作のため藁を編むところから始めるといった、文化継承を行うためのイベントを催しており、貴重な経験を味わえる機会となっている。

これらのイベントの様子は、「下倉田町内会のホームページ」「南谷戸和楽路会のホームページ」に掲載されているので、興味がある方はご覧いただきたい。



妖怪・伝説物語 23

聞くも不気味、語るも不気味で奈落の底に落ちていく。

鎌倉に伝わる妖怪伝説じゃ！
其の一 建長寺の住職和尚
むかし、建長寺の住職に餌をもらっていた古だぬきがおった。古だぬきは、古だぬきが思返して三門改築の資金集めに和尚に化けて末寺を回った。和尚は、食事を頂くときは人払いをして、部屋をのぞくと和尚は四つん這いになって箸をつかわずベチャベチャ食べた。次



建長寺の山門

だったのがその後狸の姿にかわった。狸は、夜中に歌を歌っていた。狸は、夜中に歌を歌っていた。狸は、夜中に歌を歌っていた。

其の二 源実朝がみた青女
時じやった、庭先に少女が走り抜けていったんだ。「どの、誰じゃ」と聞いても、答えず消えてしまった。そして松明のような明かりが現れしばらくたって消えてしまった。急いで陰陽師の阿部親職を呼んでお払いの儀式をした。その儀式は青女と「吾妻鏡」に書かれていた。



百鬼夜行絵巻の青女房

其の三 鎌倉地蔵尊がなぜ京都に？
以前九尾の狐の話をしたが、これ九尾の狐が追われ板木の那須野に逃げたところ、坂東武士

の上総介広常と三浦介義明が追撃した。石に砕けた。これが殺生石じゃ。その後邪氣を禊する石をさらに破壊したのが玄翁和尚。その石を刻んだのが鎌倉地蔵尊で鎌倉にあったが、江戸時代に京都の三重塔西側のお堂を建て移したんだ。



京都の鎌倉地蔵尊

★解説
其の一 狸和尚の話だが関東各地を回ったらしく、東京、長野、静岡、山梨で「建長寺さん」という名で話が残る。山梨県韮崎市常光寺には狸和尚がしゃべって書いた、松の絵が残っている。又、犬に噛まれることもなく無事にお金を集め三門は立派になったという話も残っている。

其の二 青女は青女房(あおにようぼう)とも言い絵本百物語に

も描かれている、境港の水木しげるロードにもプロレス像となっている。この妖怪については詳しいことはわかっていない。

其の三 九尾の狐を追撃した上総介広常(大河ドラマで佐藤浩市が演じた)であるがその後源頼朝の命で北条義時(小栗旬が演じた)が南清した。三浦介義明は衣笠城の戦いで平家方に討たれた、鎌倉幕府に貢献し義時の友人であった三浦義村(山本耕史が演じた)の祖父である。



水木しげるロードの青女房像

庶務部長 吉原憲孝

ケアプラザ利用団体の紹介

水彩画同好会 サップグリーンA・B

高宮あけみ

私達は日々の生活の中で目にしたものを水彩画にして楽しんでるサークルです。

現在、下倉田地域ケアプラザにて毎月2回(第1、第3金曜日)、Aチームは午前10時から12時、メンバーは6人。Bチームは午後13時から15時、メンバーは11人で和やかに活動しております。

サークル自体は15年以上たちますが、メンバーはまだ日が浅いひよっ子さんから15年以上の古参までさまざまです。



サップグリーンの皆さん 前列中央右が高宮先生

2時間の間、病気の話、年金の話、最近のテレビの話など、法師高宮あけみが一人一人端から作品を指導しております。



指導方法はメンバーが旅行などに行った時に撮影してきた写真をもとに模写してきたものを、色の混ぜ方ばかりは、筆の使い方をその場で見せながら行っていく。個人の好みでやっておりますので、葉書サイズからF6サイズまでさまざまです。



年に一度、本郷台にある栄区民文化センターリリスで発表会を行っており、今年も5月9日から15日までの1週間、ギャラリーA・Bで行う予定です。講師高宮あけみの水彩画個展も9月28日から10月3日まで、鎌倉にある水平線ギャラリーで開催予定です。よろしかったら足を運んでいただけたらうれしいです。

一応ホームページのアドレスを載せておきますのでそちらの方も興味がありましたら覗いてみてください。



ケアプラザでの展示の様子

<http://akemikaiga.web.fc2.com/>



QRコードの使い方

本号より、関連記事がホームページ上でも公開されている場合、そこにも簡単にアクセスできるようなQRコード(白黒の点の集まりでできた四角い図柄)を埋め込んでみました。これにより、スマートフォンをお持ちの方はより多くの写真や記事を楽しむことができます。ここでは、QRコードの基本的な使い方を紹介します。

QRコードの読み取り方にはいくつかありますが、最初に専用アプリをインストールして読み取る方法を紹介します。

①まず、スマホに専用アプリをインストールする必要があります。検索エンジンやGoogle Playで「QR アプリ」と検索してください。



②たくさんの種類のアプリが出てきますが、良さそうなものを選びインストールして下さい。よく分からない場合、とりあえず評価が高そうな(★の数が多)いものを選んでおけば問題ないでしょう。



③インストールが完了したらアプリをタップして起動して下さい。
*以下、「Lightning QR」というアプリを使って説明します。



④カメラをQRコードにかざすと、アプリが自動的にQRコードを読み取ってくれます。読み取れたら「リンクを開きます」をタップして下さい。



⑤WEBページが表示されます。



次に、標準でQR読み取り機能が備わっている、最近のスマホでのやり方を説明します。その場合、スマホのカメラを起動して、QR読み取りのボタンをタップするだけで、



このように読み取ることができます。



いかがでしたでしょうか。これを機に広報誌とHPの両方を楽しくみ下さい。

投稿欄「わがまち広場」開設!

次号より、投稿コーナー「わがまち広場」を開設します。日々のできごとや町内へのご提案など、お気軽にご投稿下さい。

◎お手紙の場合

次の事項をご記入の上、町内会館のポストに投函、又はご郵送ください。
・氏名・年齢・住所・電話番号・本文(400字以内)・ペンネーム(匿名希望の場合)
〒244-0815 下倉田町 540 下倉田町内会「わがまち広場」宛

◎Web からの場合

右のQRコード又はアドレスから投稿フォームへアクセスし、必要事項をご入力の上送信して下さい。
皆様からのたくさんの投稿をお待ちしています。



<https://forms.gle/HhBXyZs2qiZ56wek6>

下倉田史跡巡り その② 木曾御嶽信仰②

(前号の記事に続き、南谷の田中彰様より大変丁寧なご教示をいただきました。深く謝意を示すと共に、今号ではそれを踏まえて内容の訂正および補足を行わせていただきます。)

下倉田にある木曾御嶽信仰の石碑群は「御嶽山神社」と呼ばれ、田中家の土地に建立されています。中央にある「御嶽山神社」の背面には、明治35(1902)年に「起立講先達米山廣吉」により建立されたことが記されています。また、同碑と左右にある「八海山神社」「三笠山神社」の礎(いしずえ)には、豊田村下倉田・上倉田をはじめ、戸塚下郷、長尾村金井・小

雀、本郷村鍛冶ヶ谷・中野などに住んでいた多くの方々の名前が刻まれています。

神社を建立された米山廣吉先達は、田中家のご先祖様になります。彰氏の調査によると、生没は天保7(1836)年2月22日(大正7(1918)年12月28日)、82歳の御長命だったようで、碑が建立された明治35年には65歳であったこととなります。

木曾御嶽信仰においては、行者を神格化して「霊神」として祀り、その名を刻んだ「霊神碑」を建立する風習があります。廣吉先達も霊神として祀られ、碑が建立されています。

先達の名前に刻まれている「起立講」については、「講」というのは木曾御嶽信仰を組織する集団単位のことです。「起立講」の

活動範囲は下倉田にとどまらず、旧戸塚区全域から港南区にまで及ぶ広いものでした。廣吉翁はその「先達」として中心的役割を果たしていた行者だったのだと思います。



廣吉先達の霊神碑

クイズ下倉田百景 (答え)

皆様、どの場所の写真が分かりましたか?クイズの答えとして、写真をご提供頂いた吉田隆晴さんの解説文を紹介します。

1面の写真は今から61年前、昭和37年5月の下倉田八幡神社の風景です。撮影地点はバス路線の下倉田と宮谷の中間辺り、世の中は高度経済成長期の真っ只中で下倉田の地形や風景が大きく変貌した時代でした。それを物語る貴重な写真です。

撮影したのは私の義祖父、故吉原朝次です。祖父は原版をプリントせずに35mmポジフィルム状態で箱に入れて保管していた為、存命中はその存在が分かりませんでした。遺品の中から見つけてパソコンにスキャンし、この懐かしい風景が画面に浮かび上がった時の驚きと感動は今でも忘れられません。

写真を細かく見てみましょう。右上後方の山は現在の倉田小学校の辺り、深い緑は松林です。元々の植生は照葉樹林帯なので松は人為的に植えられたものでしょう。建材が燃料か用途は分かりませんが、かつては下倉田には美しい松林があちこちに見られました。小松ヶ丘の由来もそんな所から来ているのかも知れません。

松林の手前には今まさにブルドーザーが山をくずしています。この場所には日本油脂(株)の社宅ができました。また搬出された土砂は線路沿いの水田の埋め立てに使われ工場が次々と建設されました。

そしてその左手前が下倉田八幡神社の鎮守の森です。スダジイやタブなど元々自生する常緑広葉樹が大木となって枝を広げています。鳥居は今でも同じ位置に立っています。鳥居の前は上から畑、ハス田、水田の順に広がっています。写真には写っていませんが水田の手前には小川があり水は右手の紅葉滝方面から左手の柏尾川へと流れていました。

南谷戸、脇の谷戸、滝の谷戸など下倉田には谷戸と呼ばれる地域がいくつかあります。この辺りもかつては宮の谷(ミヤノヤト)と呼ばれていました。昭和48年頃まではこの谷戸でタマシギの子育てや、タカの仲間サシバの採餌が観察できました。

両種とも絶滅危惧種になってしまいましたが、せめてその存在の証として当時中学生だった私がこの場所で撮った写真を添えておきます。



タマシギの夫婦



サシバ

編集後記

皆様、初めまして。新たに編集長となりました吉田隆英と申します。14年の永きにわたりお役目を果たされた中澤前編集長の後を継いで登板となります。

歴代編集長および関係の皆様への積み重ねてこられた努力とこれまでの流れに敬意を払いながら、今後の編集活動を展開していきたいと思います。

今号では
①誌面のカラー化
②QRコードによるHPとの連携
③投稿欄の新設
といった点を新たに試してみました。いかがでしたでしょうか。皆様方には、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

2023年12月
第56号



わがまち 下倉田

下倉田町内会公式ホームページ: <http://shimokurata.sub.jp/>

[下倉田 ホームページ 検索](#)



下倉田町内会
公式HPはこちら

発行責任者: 下倉田町内会会長 水本 進一
編集責任者: 広報文化部長 吉田 隆英
Email: yamanisoken@gmail.com
印刷所: (有)豊田印刷所

4年ぶりの納涼夏祭り 神輿渡御開催!



8月19日(土)、永勝寺青少年広場にて4年ぶりに納涼夏祭りが開かれました。子供大人あわせて一八〇〇名以上もの多くの参加者が集まりました。



恒例のぼんぼりが会場までの街頭をにぎやかにかざる中、四時半より、ダンスクラブ倉田組、下倉田パトロール部のパフォーマンス、そして囃子連のお囃子・獅子舞で幕が開きました。盆踊りが始まると、最初は小さな輪だったものが暗くなるにつれて徐々に大きくなり、櫓の上では囃子連と一緒に子供達が太鼓を叩き、そこでも踊りの輪が生まれ、大変な盛り上がりとなりました。



十時に小松ヶ丘公園に集合。こども達も太鼓を叩くお囃子のトラックを先頭に、錫杖をもった先達に導かれた二基の

翌20日には、子供神輿(みこし)の渡御が行われました。

令和5年度上半期の振り返りと今後に向けて

町内会長 水本 進一

会員の皆様こんにちは。いつも町内会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今年の夏は猛暑が続き、熱中症対策等にも大変ご苦労されたことと推察いたします。

令和5年度がスタートして半年が経過しました。より良い町内会活動に取り組むことを目指し、会則や組織の一部を変更してのスタートでした。その中で最大の取組みは、4年間開催が出来なかった『納涼夏祭り』を復活開催させることが出来たことです。今回は従来の方式とは異なり、初めて外部から専門の露店商を招聘し、お祭りの雰囲気大いに盛り上げ、一、八〇〇名を超える大勢の皆様にご来場いただき、久しぶりのお祭りを楽しんでいただくことが出来ました。これは大変喜ばしいことです。参加されました皆様からの声として、『よく開

催してくれました』『とても楽しいお祭りでした』との絶賛の声もありましたが、反面、『露店商の品物が高い』『もつと盆踊りをしたかった』等々いくつかの意見もありました。それらについては来年度以降の開催に向けてどう取り組んでいくのか、要検討課題事項と認識しています。

今後の活動においては、当町内会もご多分に漏れず役員となり手不足や高齢化等の問題を抱えています。現状ではこれから先の町内会運営に、

今年から、ぼんぼりの全作品をHPでご覧いただけます。詳しくは3面をご覧ください。



2023 特別賞



2023 優秀賞



2023 最優秀賞

ぼんぼり受賞作品発表

本年は122件の作品が集まりました。ご応募頂いた皆様、大変有り難うございました。いずれも優秀付けがたいものばかりでしたが、その中から役員投票にもとづき選出された、最優秀賞、優秀賞、特別賞の三作品を紹介します。



神輿がスタートし、町内会館前、コーポ野村をへて、無事八幡神社に到着しました。(特集記事3面に)

豊田小学校に赴任して

豊田小学校校長 梅田 巖



この4月に豊田小学校に赴任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

豊田小の教育目標が「豊かにかかわり、じっくり考えるキラッとかがやく、豊田っ子」なので、着任式で、子どもたちにこんな自己紹介をしました。「ウメダの「ウ」は、ウルトラマンの「ウ」。光の国からやってきた、キラッと輝くウルトラマンの「ウ」です。ウメダの「メ」は、メダルの「メ」。金メダルや銀メダルのようにキラッと輝くメダルの「メ」です。ウメダの「ダ」は、ダイヤモンドの

地域の中の中学校

豊田中学校校長 小佐野和人



下倉田町内の皆さま、こんにちは。今年度の4月に、上郷中学校から異動してきました。よろしくお願います。

着任して約半年が過ぎました。豊田中学校の印象は、まずは「生徒たちが、よく挨拶する」ということです。4月から登校時に正門で生徒たちに「おはようございます」と声をかけていますが、ほとんどの生徒たちから「おはようございます」と、気持ちよい挨拶が返ってきます。これは、小学校を含め幼い時から地域

「ダ」。キラッと輝くダイヤモンドの「ダ」です。わたしは、輝くものが大好きなので、豊田小学校のみなさんのことをよく見て、輝く姿をたくさん見つけたいと思います。どうぞよろしくお願います。ある日の下校時の昇降口。「ウルトラメダルタイヤモンドのこうちよう先生さようなら！」「こうちよう先生は子どものことよく見てるっていつたから ウルトラ メダマダイヤモンドじゃない？」「えー？、めがねでよく見てるから、ウルトラ メガネダイヤモンドだよ！えへへー」「こうちよう先生ーさようならー」。低学年の子2人の挨拶の見事な掛け合いは、笑点風に言えば「座布団3枚！」といきたいところでした。日が経つとともに、どの学年の子もあたたかい接し方を

ぐるみで子ども達を見守ってきたのだろうと感じました。私は「言葉の力」って凄いと常々思っています。「おはよう」「こんにちは」「さよなら」「ありがとう」「ごめんなさい」など、たった数文字ですが、その言葉を受けた人は、少なからずあたたかい気持ちになります（もちろん、使い方を間違えると人を傷つけるものもあります）。そんな相手であたたかい気持ちにする言葉が、サツと普通に言える豊田の子達は素晴らしいと思っています。現在の学校の様子は、今年の5月よりコロナも第5類となり、生徒たちの活動もコロナ前に戻りつつあります。でも、実際は未だにコロナやインフルエンザの欠席連絡が入ってきています。通常の活動に戻しつつもコロナやインフル

する子ばかりであることが分かってきました。素敵な挨拶をする姿だったり、高学年の子が低学年の子の手を引いて登校する姿だったり、あたたかい姿に数多く出会います。保護者や地域の方々も、接するたびごとに感じるのも、あたたかさです。地域全体があたたかさで満たされている豊かな地域なんだなあとそんな感じを受けるのです。「豊か」という漢字の付いている「豊田」。その地名は今に残っていないとのことですが、地域の方々の中に「豊かさ」として残り続けているんだと感じています。豊かな地域の一員として、豊田小学校がますます発展していくよう職員一同力合わせて取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願います。

エンザの状況をみながら、生徒たちの安全を最優先した学校運営をしていかなければならないと思っています。この夏、豊田中学校区内の全てのお祭りに参加させていただきました。久しぶりのお祭りということもあり、すべての会場が活気にあふれ、会長様はじめ多くの方々とお話をしていると、子ども達を地域で見守っていることがよく分かりました。感謝しています。学校は、「地域の中の学校」です。教員だけでも保護者だけでなく子ども達を育てることができません。学校・保護者・地域が連携を図り、子ども達の健全な育成に尽力できればと思っています。教職員一丸となり、「生徒たちのために！」という熱い思いでいますので、これからもよろしくお願致します。

BBQで広がる輪

班長 佐藤純子・二見みゆき 齊藤智美



皆さんは、町内会のイベントに参加した事はありませんか？スポーツ等の体を動かすイベント。手芸、工作等の講習会や、防災訓練等学びに繋がる研修会。更に子育て世代に向けたサークルや、高齢者の方々が楽しく集える憩いの場まで。様々なイベントがあります。その中でも今回、私達班長3名が紹介するのは、3年ぶりに開催された「青空BBQ 23」（5月28日開催）です。食べる事、飲む事が大好きな方には、とってもお得に楽しめるお勧めのイベントです。当日は、私達班長仲間3家族に加えて、子ども（小学生）繋がりのお友だち2家族も一緒にBBQを楽しみました。

ママ&子どもチームは、食材を洗ったり切ったり。パパチームは、火の管理+焼き係。皆で協力しながら、ワイワイととっても楽しい時間を過ごしました。何と言っても野外で焼いて食べるお肉や、お酒の

美味しい事！自然のスパイスは格別です！だんだん他のグループの方がやってきたり、他のグループへ行つて見たり、親睦の輪が広がります。後半は、「お楽しみじゃんけんバトル」に、大人も子どもも大興奮！最後は、参加者全員で記念撮影をして終了。一気に友達家族との仲が深まり、町内会の方々とも親しくなれた、とっても楽しいイベントになりました。

皆さんも是非、ご家族やお友達と参加してみたいか。町内会のイベントに参加して、楽しい仲間を広げてみませんか！わが町下倉田が、より住み心地の良い町になりますよ！



☆青空BBQ耳より情報☆

小菅ヶ谷北公園BBQ広場 大人1500円 子ども1000円 未就学児無料

参加費の中に、食材+お茶も含まれていたので、手軽にお得に参加出来ました。持ち込みも可で、なんと嬉しいお酒の差し入れもありました。来年も楽しみにしています！



BBQ HPはこちら

町内会館利用団体の紹介 下倉田体操クラブ

代表 鈴木喜美子

おかげさまで45年！

フィールドアスレチック内の卓球室から始まった下倉田体操クラブが、様々な方に支えられ今年で45周年を迎えることができました。

45年前子供が幼稚園に通い始めたので、何かしたいと、自分の時間を持てるようになってお母さん達にあふれるエネルギーが、この縁を呼んでくださいました。約30名の会員で週1の体操クラブがスタート。年々会員が増え会場探しに皆で奔走しました。現在は、下倉田町内会館をホームにしています。

会員も指導者も年齢を重ね、介護予防に筋トレ、認知症予防の脳トレを取り入れていきます。タオルやボール椅子に座つての体操や音楽に合わせてリズムカルに楽しく動き、最後は仲間がいたから頑張れたと拍手して、頑張った自分を、メッチャかわいいとハグします。毎週土曜日(祝日・第五週休) 10時~12時 無料体験随時



連絡先

080-1255-2789 鈴木まで。

祭り

夏祭りPTリーダー 吉原 寛

うだるような残暑とうるさいくらいのセミの鳴き声。遠くで太鼓の音が聞こえる。祭りだ！友達数人と下倉田八幡神社の参道に向かうと多くの人たちが綿菓子、お面、りんご飴など持って歩いていく。神社に近づくと色とりどりの露店が並び、活気よく人々が群がっている。人混みをかき分け覗き込むとキラキラしていて魅力的なものばかり。でも子供ながらに手の届かないものばかりだった。何度も何度も露店を回り、満を持してサイコロの目で当たりが出れば巨大なりんご飴がもらえるお店に決めた。結果は小さな杏子が入った水あめ。店の人が「おい坊主泣きそうだから、これもやるよ！」ともう一つ同じものをくれた。きつとその時の自分の顔は満面の笑みだったと思う。

これは私の子供の頃の記憶です。当時はお祭りとはなんなのか全くわからなかったけど、活気があり皆が笑っていました。

夏祭りに参加して

模擬店関係担当 吉川貴晴

私は今年度より子ども向けイベントを主に担当させていただいております。

4年ぶりに行われた下倉田町内会夏祭り。「祭りのプロによる出店が祭りを盛り上げてくれるだろう、事前に行った盆踊り練習の成果を子どもたちもどこのくらい発揮できるだろうか。」子ども会役員の方々に仕入れ協力をいただきました。光り物のおもちゃを販

私は昨年同様今年の下倉田町内会の夏祭りリーダーという大役を拝命いたしました。昨年はコロナ禍と3年の空白ということもあり開催に向けてあらゆる面で障壁があり、まさに0からの組み立てでした。開催を信じ役員他多くの方々が作り上げてくれましたが結果直前で中止となりました。しかしその内容をもとに、今年度は4年ぶりの開催に向け更に幾度も会議を重ねました。全体を通して苦労したのが行政のルールでしたが、町内会理事役員はもとより各種団体や個人、法人のご理解とご協力もあり、今回の計画を作る事ができました。この場を借りてお礼と共に感謝いたします。

8月19日、いよいよ夏祭り当日です。地域の方々が丹精込めて描いた雪洞が沿道に彩を与え、太鼓や盆踊りの軽快な音色、子供達による力強い演舞、煌びやかな提灯と櫓、華やかな露店の数々、などにより多くの人々の笑い声。皆が

同じ方向を見て繋がる場がそこにはあったと感じました。翌日には下倉田八幡神社よりお神輿をお借りしての子供神輿渡御を催行しました。下倉田町内会だけではなく他自治会のご協力と子供達の参加。さらに子供による山車の上での太鼓の演奏も今年初めて行いました。多くの初めてを大人も子供も体験し、参加することの楽しさを知って頂けたイベントとなったのではないのでしょうか。

夏祭りの参加者は延べ1800人以上。翌日の子供神輿渡御はお手伝い含め約300名（内子供118名）と、この地域の活力を感じる結果であったと感じています。

大人が笑えば子供も笑顔です。将来、今の子どもたちが胸を張って「俺の育った町は活気があったぜ！」と言える地域を目指して尽力したいと思えます。すべてが輝いていて活気に満ち溢れていた子供の頃の夏の記憶。足元にも及びませんが今なら少しわかります。あの時の大人たちは凄かったのだな、と。

売って子どもたちに会場雰囲気をもっと盛り上げてもらいたいと考えました。ただ、数年ぶりの開催です、どのくらいの人達が来場してくれるのだろうか。不安を抱えながら当日を迎えました。祭り当日の店舗スタッフは全員子ども会役員さん達でした。各団体役員さんの協力も得て完売しました。

たくさん笑顔をみて改めて感じた「下倉田のチカラ」。子どもたちの元気な声とたくさんのお笑い溢れる地域になろうという皆様方のお力をお借り



祭りは地域交流の場

11班3組組長 小林 道子

4年ぶりに開催された夏祭りは町内会主催の模擬店、焼きそば・綿あめなどプロの屋台が並び行列が出来るほど大盛況でした。家族連れや友人仲間、浴衣姿女の子たちが次々と会場に集まり、下倉田の夏祭りは賑わいを見せました。



私は来場者にくじ付きのリストバンドを配布する係でしたが、リストバンドをお付けするとき多くの方とお話をしました。屋台で何を食べようかと相談している子どもたちの声や久しぶりに会ったご近所さんの会話も聞こえてきました。

そのとき感じたのは、夏祭りが地域交流の場だということとです。人と人の繋がりが大切だと思いました。

和太鼓やお囃子、そして盆踊りが祭りを盛り上げてくれました。夕暮れになると、道路沿いのぼんぼりに灯りがともり幻想的な雰囲気になりました。終盤は豪華賞品が当たる大抽選会です。抽選は会場で行われ、結果発表があるまでワクワクドキドキ、会場は大いに盛り上がりました。私もくじのお手伝いをしたことで、地域の方々と交流を深めることができました。町内会役員・諸団体の皆さま、準備・運営に関わってくださった方がとうございました。

ほんぼりアーカイブ新設のお知らせ

本年度より全ての応募作品をいつまでも閲覧できるように、HP上に「ほんぼりアーカイブ」をもうけました。みなさま是非ご覧下さい。

現在、会館内に保存されている過去の作品も順次公開していく予定です。お楽しみに！



ほんぼりアーカイブ 2023 はこちら

<http://shimokurata.sub.jp/bbr/bonbori2023.pdf>



お祭りアンケート

お祭り終了後の役員アンケートでは、色々な意見が出ましたので、一部を紹介します。来年に活用させていただきます。

- ・リストバンド抽選に関する説明看板が必要だった。
- ・町内の祭りには価格は高い。味はおいしかったが。
- ・踊りたい子供たちのために盆踊りの時間も事前に告知があればよいと思う。
- ・盆踊り、やってみたいが、自信なくて輪に入れなかった。踊りたい人を誘導する工夫があれば良いかと思えます。
- ・抽選をみんなとても楽しみにしており、ステージでくじ引きして発表するのもドキドキ感があってよかった。
- ・ほんぼりの雰囲気良かった（特に、道路沿いは良い）。
- ・あてくじや光るおもちゃ販売は種類も多くてリーズナブルでも良かった！子どもが楽しめた！
- ・娘が太鼓や盆踊りにはまって、最後まで楽しく居させて貰った！さらに翌日の神輿も楽しませて貰った！
- ・コロナぶりの夏祭りに雪洞通り、屋台、子供向け光るおもちゃ、抽選、盆踊りと多くのイベントが詰まっていた、雰囲気がとても良かったと感じられます。

下倉田百景

柏尾川の高級食材

五班三組 吉田隆晴

下倉田の西端を流れる柏尾川、昭和30年代、40年代は生活排水が流れ込み、悪臭が漂う汚い川でしたが下水道が整備され、小魚やそれを餌とする水鳥たちが少しずつ増えて来ました。

そんな柏尾川の生き物を今から13年前、息子の夏休みの自由研究で調べてみました。四十万十川のような清流だけに棲むとばかり思っていた生き物たちと次々に出会い親子で大興奮でした。魚類だけでも20種類以上確認しましたが今回はその中から「高級食材」として珍重される6種をご紹介します。写真は全て柏尾川で撮った物です。



②モクズガニ

護岸の隙間に潜んでいたのをスルメでおびき寄せて何とかゲット。上海ガニと近縁でカニみそが美味しいそうです。



③スッポン

大船駅の少し下流で日光浴をしていました。柏尾川ではクサガメ、ミシシッピ、アカミミガメの4種を確認しました。



アユ



マハゼ

川底のコケで覆われたコンクリートに数十匹で群がっているのがあちこちで見られます。



⑤マハゼ

6種類のハゼを確認しましたが中でも一番大きい。天ぷらで食べると美味しいとか。

⑥ニホンウナギ

カワウやサギなどの仕業でしようか、川底に頭部を食いちぎられたウナギを発見しました。絶滅危惧種のニホンウナギですが柏尾川には結構棲息しているようです。NHKの「ダーウィンが来た」で5年前、「都会で発見！絶滅危惧種ウナギ」と題し飯島小学校の子どもたちが柏尾川でウナギを捕獲する様子が紹介されました。

下倉田の古道

13 班班長 中島 克浩

関東各地に本拠地を持つ鎌倉幕府の御家人が「いざ鎌倉」と、ことある毎に鎌倉へ馳せ参じた道を「鎌倉道」という。鎌倉道は西から上道（かみつみち）・中道（なかつみち）・下道（しもつみち）と大きく

三本に分かれているが、それぞれに多くの支線があり、その支線の一つ一つが「鎌倉道」「かまくら道」とよばれている。戸塚区には上道と中道があり、中道の支線の一つに下



「左りかまくら道」の道標。東海道五十三次「戸塚」に描かれ、吉田町妙秀寺に現存する。

倉田を通っている「かまくら道」がある。この「かまくら道」は東海道の吉田大橋より柏尾川沿いに分岐し蔵田寺前、南谷の大わらじ、栄区の貝殻坂、笠間十字路を経て鎌倉へと向かう。

この道は吉田大橋から鎌倉にむかうということで「吉田道」、東海道の戸塚宿内の八坂神社付近から東に分岐、蔵田寺付近で「吉田道」に合流するので「とつか道」、幕末にペルー来航以来外国との折衝のため浦賀に奉行所を設けたので浦賀へ行く道として「浦賀道」とも呼ばれている。



永勝寺への道標

南谷の大わらじがある。ここには、道祖神があり、旅人はここで一服、わらじを履き替え松ノ木に、履き古しのわらじをかけ、旅の安全を祈願したといわれている。現在のような大わらじを作ったのは大正時代からである。

投稿募集!

投稿コーナー「わがまち広場」への投稿を募集しています。日々の雑感など、お気軽にご投稿下さい。採用させていただいた方には薄謝を差し上げます。

◎お手紙の場合 次の事項をご記入の上、町内会館のポストに投函して下さい。・氏名 ・年齢 ・住所 ・電話番号 ・本文(400字以内) ・ペンネーム(匿名希望の場合)

◎WEBからの場合 次のQRコード又はアドレスから投稿フォームへアクセスして下さい



わがまち広場はこちら

https://forms.gle/HhBXyZs2qiZ56wek6

令和5年後半行事予定表

- 12/15 年末防犯パトロール
1/ 1 歳旦祭
1/27 県重要文化財防災訓練
2/11 連合祭り
2/18 町内クリーンデー
3/10 安否確認訓練

町内会役員・お手伝いを募集します!!

令和5年度の後半がスタートしました。来年度は新しい皆様方のご意見を取り入れ、より良い町内会活動をしたいと思っています。ぜひご参加いただき、ご意見をお聞かせ下さい。イベントへのスポットお手伝いも大歓迎です。皆さまの積極的なご参加をお待ちしています!

連絡先: ake3n2278@gmail.com
090-1993-6968
水本まで。

または、お近くの役員までお声掛け下さい。

編集後記

編集者も50歳を過ぎてとみに老眼が進み、小さい文字が読みにくくなってしまいました。本広報誌の読者層も老眼にわずらわされる年代の方が多いと思われるので、今号より文字のサイズを従来よりさらに大きく、文字間隔もゆったりと取るようにしてみましたがいかがでしたでしょうか。今夏は4年ぶりの納涼夏祭りが開催されました。役員として初めて準備と運営に関わりましたが、楽しくやりがいがあるものでした。役員以外の方々に、準備作業に自発的にお手伝いいただき大変助かりました。わが家の子供達にも手伝ってもらいました。みな夢中になって楽しそうに作業していました。皆さまにも、来年度はぜひ準備からご参加されることをオススメします。

